

**令和3年4月及び令和2年10月入学
大学院工学研究科博士前期課程入学試験における
試験科目「英語」の取り扱いについて**

新型コロナウイルスの流行及びこれに伴うTOEIC公開テストの中止を鑑み、一般選抜と外国人留学生特別選抜における英語の評定について、以下のとおりといたします。

なお、変更の可能性があります。ご了承ください。

- 機械工学専攻：英語の評価を実施しない。
- 電気電子工学専攻： TOEICについて4年以内のスコアを有効とし、IPテストのスコアも可とする。TOEICのスコアがないものについては大学等の英語の成績を評価に用いる。
- 分子素材工学専攻： TOEICのスコアを用いず、専攻独自の英語試験を実施する。
- 建築学専攻：（一般選抜）大学等の英語の成績を評価に用いる。
（外国人特別選抜）専攻独自の「英語・日本語」の試験を実施する。
- 情報工学専攻：面接試験の中で、一般的な内容の短文読解などを課す。
- 物理工学専攻： TOEICについて4年以内のスコアを有効とし、IPテストのスコアも可とする。TOEICのスコアがないものについては大学等の英語の成績を評価に用いる。